

はー

はー

どうした？
息が上がって
おるぞ

はー

はー

ウインの居場所を
吐けば開放してやると
言っておるのに

…まあいい
その強がりも
いつまで持つか――

バチ
バチ
スス。

バチ
ガク

ガク

ガク

ピタ



フヒッ
いいだろう

わしの可愛い
ペットたちよ



このバカな小娘に
思い知らせてやれ



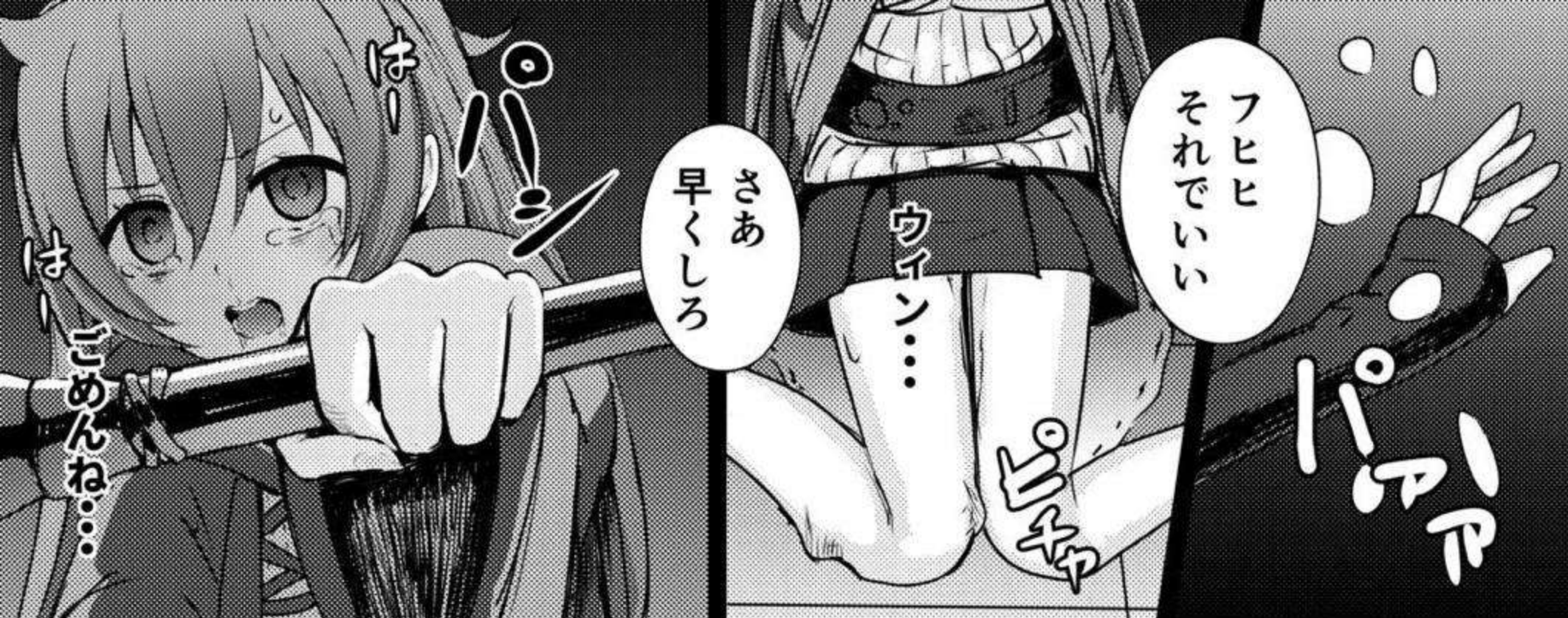
っ：
ムダよ

絶対に
ウインは
渡さないから

…そうか
おまえたち
遠慮は要らんゾ

ミッ
ル





フヒヒ
それでいい

ウイン...

さあ
早くしろ

はー
ごめんね...

パァァ



水の精霊よ

契約のもと
エリアが命じる
風霊使いウインを

この場に
召喚せよっ！

ポッ

ア

フ

エリアちゃん!?

ウイン
ごめんね

私……頑張ったの
……でも
ダメだった

ボロ

わからないよ
なにを言ってる

なるほど
転移魔法で
呼び出したか

エリア
よくやったゾ

おまえは
ウインを妹の様に
可愛がってたのう

わしを
手こずらせた
罰を与えんとな

ゴォ

ピキ

ピキ

魔界植物は
わしの
お気に入りだな

うああっ

獲物を縛り上げ
酸で溶かしてから
食べるのだ

フヒッ
メスの匂いに
反応しておる

ソ・コは痛いゾ

んがっ

うあっ

早速
酸の放出が
始まったか

どうだ？
大事な所を
焼かれる気分は

フヒヒッ
若いメスに有り付けて
魔界植物も
興奮しておるわ

フヒイ！
血尿まで
噴き出しおった







それから
私たちは

毎日

毎日拷問を受け続けた

